

# 令和5年度 埋蔵文化財（三林遺跡）本発掘調査業務委託 特記仕様書

見 附 市

## 1 業務概要

この委託業務は、見附市（以下、委託者という。）が一級河川貝喰川大規模河川改修事業に伴い実施する埋蔵文化財発掘調査（本発掘調査）の調査業務である。業務を受託した民間調査組織（以下、受託者という。）は、委託者による指示ならびに本仕様書等の設計図書に基づき、発掘調査支援を安全かつ効率的に行うものとする。

## 2 業務委託名

埋蔵文化財（三林遺跡）本発掘調査業務委託

## 3 施工地

見附市西今町 地内（別紙 位置図）

## 4 業務委託期間

契約締結日から令和6年2月15日

※ただし天候や調査地の状況、発掘調査の進捗等によって変更が生じる場合がある。

## 5 遺跡概要(調査条件等)

遺 跡 種 別	集落跡・生産跡・遺物散布地
遺 構	畝・畦畔・溝・柱穴
時 代	室町～鎌倉時代（奈良～平安時代）
立 地 ・ 現 状	沖積地（低地）・田
遺 構 確 認 面 数	1 面
遺 物 包 含 層	0.05m～0.2m
遺構確認面の深さ	1 面目：地表面から深さ 0.5m～0.8m (2 面目：地表面から深さ 1.0～1.5m)
土 質	遺物包含層：粘質土、砂質土、シルト 遺構確認面：粘質土、砂質土、シルト
予想遺物量・種別	中量（須恵器・土師器・陶器・木製品）

## 6 調査における指導・監督等

（１）委託者は、この調査に関する計画の立案およびこれに関する委託業務における監督、また埋蔵文化財発掘調査の調査方法について受託者に対し指導・監督を行う。本業務の監督員は、見附市まちづくり課（民俗文化資料館）職員とする。

（２）受託者が定めた現場代理人（土木管理作業者）は、調査の進捗状況の把握に努め、委託者と工程管理を行う。

(3) 受託者は調査の進捗状況の把握に努め、必要に応じて工程会議を開催し、調査工程等についての協議を行う。

(4) 本特記仕様書は、他の仕様書等の設計図書と相互に補完しあうものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合は、本特記仕様書を優先する。

## 7 業務内容および作業内容

### (1) 全体事項

本調査業務は、文化財保護法に定められた記録保存を目的とした発掘調査である。受託者は、本調査業務の実施計画にあたり、本仕様書のほかに「埋蔵文化財の本発掘調査に関する積算基準」(平成 25 年 3 月 25 日付け教文第 1418 号で改正)および「本発掘調査における民間調査組織導入に関する指針」等の県基準に準ずること。

本調査業務において出土遺物や図面・写真等の記録類には精度と統一性が必要である。記録類は埋蔵文化財の本質的価値を示す根拠となることから、取扱いには十分に配慮すること。

### (2) 発掘調査事前準備

- ・委託者と受託者は事前に現地打ち合わせを行うこと。
- ・調査予定日に滞りなく調査が実施できるよう、受託者は重機・必要機材・人員等を準備する。

### (3) 表土掘削

- ・表土等掘削を開始する際は、監督員の指示を受けなければならない。また、掘削範囲や深さ等については、監督員の指示を受けるものとする。
- ・重機(バックホウ)および人力により掘削・精査を行う。掘削は遺構・遺物の有無を検証しながら行う。

### (4) 遺物包含層・遺構検出・遺構掘削・遺物の取り上げ

- ・遺物包含層は原則として人力で掘削する。ただし、部分的にまとまった遺物を含む土層が確認された場合は、改めて検討し、掘削方法を定める。
- ・遺構検出はジョレン等を用いて人力で行い、遺構検出面を平坦に整える。遺構掘削についても人力で行うものとする。
- ・雨水・湧水による遺構の崩壊や遺物の流出、作業環境の悪化を防ぐため、調査区域内に仮設の排水路を設置する。設置する位置・設定方法・規模・使用する資材等は現地の状況を踏まえ、委託者と受託者が協議の上で決定する。
- ・遺構外の遺物の取上げは、原則として通常小グリッド(2m四方)ごとに取り上げる。ただし、密集して発見された場合は、微細図を作成し、または座標測量を行った後に取上げを行う。
- ・遺構出土の場合は、可能な限り層位ごとに取り上げる。
- ・多数の出土遺物や遺構が確認された場合など、必要に応じて人力による掘削・精査を行う。出土遺物等は、調査担当者がトレンチ(試掘坑)・層位を記録して収納するが、その補助を行う。

### (5) 現場図面作成

- ・遺構平面図の縮尺は 1/40、遺構全体図及び地形測量図の縮尺は 1/100 を原則とする。また、発掘調査区の面積・形状や遺構の規模・密度等により必要と認められる場合には、委託者の承諾を受けて、図面の縮尺を変更することができる。
- ・土層断面図の縮尺は 1/20、遺物微細図の縮尺は 1/10 を原則とする。現場図面の作成は、委託者が指示し、作成後に点検する。
- ・現場図面は図面台帳を作成して管理する。

#### （６）現場写真撮影

- ・写真撮影および遺構平面図・断面図等の記録作成は、受託者が行う。記録の作成方法については、監督員と協議の上で決定する。
- ・写真撮影には、カメラを三脚に据え、有効画素数 1200 万画素以上のデジタル一眼レフカメラを用いる。
- ・撮影は全てのカメラで同一対象及び同一アングルで行い、２カット以上撮影する。調査区域全体撮影は必要に応じて高所作業車等を使用し、撮影を行う。
- ・フィルムカメラについてはフィルムと紙焼きで同様の写真台帳を作成し、遺跡名・調査区・遺構名・状況・撮影方向等の必要な事項を記載する。
- ・デジタルカメラは、原則として jpeg 形式と tiff 形式で記録すること。
- ・デジタルカメラの写真データには遺跡名・調査区・遺構名・状況・撮影方向等のタイトルを付ける。写真データは日付毎・遺構毎にフォルダを作成して整理した上で HDD 等に収納すること。
- ・写真データ等の整理および管理は受託者が行い、調査員が指示あるいは実施すること。測量図の校正等は、調査員が行うこと。

#### （７）記録類の整理

- ・受託者は、発掘作業員の他に整理作業員を必要に応じて配置し、出土品や図面・写真といった記録類等の整理作業を実施すること。ただし、委託者と受託者の双方が協議の上、決定するものとする。
- ・現場作業終了後は、受託者が資料を自社に持ち帰り（委託者より借用）、整理作業を継続する。これに係る経費は諸経費で対応する。ただし、委託者と受託者の双方が協議の上、決定するものとする。
- ・整理作業の内容は、記録類（図面・写真）の整理・収納等、遺構観察表等の作成、出土遺物の洗浄・注記、実測とする。ただし、委託者と受託者の双方が協議の上、決定するものとする。

## ８ 発掘調査の体制

#### （１）調査時間：８時 30 分～17 時 00 分（このうち 12:00～13:00 は昼休憩）

※天候・気温・作業内容等に応じて休憩時間を取ることを。

#### （２）調査体制：２班体制

#### （３）現場代理人：１名

- ・バックホウオペレーターと現場代理人の兼務は不可とする。
- ・委託者の指示に従って安全管理・危険防止の活動を行う。また、現場代理人は以下の資格を有する者とする。

地山掘削作業主任者

土止め支保工作業主任者

#### （４）作業員

作業員は発掘調査現場において掘削等の作業に従事する。

#### （５）安全労務管理

受託者は、労働安全衛生法（昭和 47 年 法律第 57 号）及びその他の法令により、常に安全管理・衛生管理に努め、現場における労務災害や作業員の健康障害の防止に努めなければならない。特に夏季の熱中症予防対策や安全対策を十分に行う。

## 9 業務履行について

(1) 監督員は、原則として本業務の履行期間は業務について指揮・監督する。調査の段階確認は監督員が立ち会うものとし、監督員の確認を受けずにして、次の工程に進んではならない。

(2) 契約内容変更の可否については、委託者と受託者の双方が協議して決定する。

(3) 本仕様書は業務の大要を定めたものであり、本仕様書に記載されていない軽微な業務については、双方協議の上行うものとする。

(4) 調査の段階確認は、原則として委託者が立ち会うものとし、受託者は調査に係る施行管理記録・図面・写真等の必要資料を用意すること。また、委託者の確認を受けずにして、次の工程に進んではならない。

(5) 毎月もしくは指示した期間毎に、業務の集計および報告を行うこととする。

(6) 各項目の集計は実績数で行う。なお、月単位となっている項目等については、端数が生じた場合は日割りで集計を行うこととする。この場合、1 月当りの金額を 30 日で除した額

(1 円未満四捨五入) に期間の日数を乗じた金額とする。ただし、期間の変更については、委託者の指示によるものとする。

## 10 検査及び業務成果品の提出

(1) 受託者は、業務が完了したときは、速やかに完了届を委託者に提出し、監督員から業務が完了したことを確認するための検査を受けなければならない。

(2) 監督員は、受託者から承認もしくは立会い等を求められたときは、遅滞なくこれに応じなければならない。

(3) 業務成果品は次のとおりとする。ただし、委託者と受託者で協議の上で必要と認められるものは、別途追加するものとする。以下の成果品は（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団の様式に準じるものとする。

- ①業務日報・月報（現場代理人）
- ②重機・使用機材等一覧表（月別）
- ③作業員出勤表（月別）
- ④調査日誌
- ⑤業務概要報告書
- ⑥出土遺物
- ⑦出土遺物一覧表
- ⑧遺構台帳・観察表
- ⑨撮影フィルム及び密着写真（アルバム収納）
- ⑩撮影スライド（ファイル収納）
- ⑪撮影デジタルデータ（HDD収納）
- ⑫報告書原稿類（調査・遺構に関する本文・挿図表等）及びデータ（HDD収納）
- ⑬その他、委託者と受託者で協議の上、必要と認められるもの。

以上